

## 2020年度ゼミ（4001 演習 3A／4002 演習 3B）要覧

担当者名	林公則
演習テーマ	環境と経済
内容 と 卒業論文の 指導方針	環境や経済に関わるテーマの卒論を作成する。たとえば、社会的金融（環境保全などを含めて社会的に意義がある事業にお金を回す）、社会的企業・NPO、公害（水俣病や四日市ぜんそく）、軍事と環境（軍用機騒音、遺棄毒ガス問題）、沖縄問題、自然資源経済（第一次産業を重視する経済）、有機農業、食と環境、再生可能エネルギー、共有型経済（カーシェアリングなど）といった分野のテーマが考えられる。そのほかのテーマの卒論を執筆したい場合には、応相談。
メール・アドレス	fwnn4632@mb.infoweb.ne.jp
オフィス・アワー	火曜日と金曜日の昼休み（要予約）
授業概要	各ゼミ生に卒論報告をしてもらい、ゼミ生の間での討論を行うとともに、卒論の作成方法や方向性などについて指導する。
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の関心に応じた適切な問いを立てる。</li> <li>・他人を説得できるような論理的な卒論を仕上げる。</li> <li>・他のゼミ生の卒論にも関心をもち、幅広い知識や考え方を身につける。</li> <li>・他のゼミ生の卒論報告に対して積極的に発言し、お互いを高め合う。</li> </ul> <p>※卒論の質はゼミ生によって異なることになるが、最も重視するのは、関心をもったテーマを、納得する形でまとめられたかという点である。</p>
授業計画	ゼミでの卒論報告、それに対するコメント、コメントを参考にして卒論執筆を進めるという過程を繰り返して、質の高い卒論を作成していく。卒論の内容によっては、学生自身がヒアリングや現地調査を実施する必要がある。  ※希望があれば、夏休みあたりに合宿を開催する可能性もある。
予習	自分のテーマに関する情報を日ごろから収集し、報告の際には自分のテーマに詳しくない他のゼミ生にもわかるようにまとめてくる。
復習	ゼミでのコメントなどを整理・消化して、次回以降の報告につなげていく。
授業に関する 注意事項	ゼミへの出席は基本で、無断欠席は認めない。また、現地調査やシンポジウムや合宿など、ゼミ関連のイベントには積極的に企画・参加してもらいたいと考えている（こちらは関心に応じての参加で構わない）。
教科書	卒論報告を中心に行うつもりなので基本的には使わないつもりだが、必要に応じて指定する。
参考書	ゼミの中で指示する。
成績評価の 基準	卒論報告の内容及びゼミでの議論での積極性。
関連 URL	
備考	2020年度の演習 3A／3B の履修者が 18 名の見込みであるので、新たにゼミ生を受け入れるのは困難だと考えている。